

第22回大気ライダー研究会プログラム

開催月日：2018年2月19日（月）

開催場所：首都大学東京秋葉原キャンパス

10:30~12:10 対流圏エアロゾル観測

(1) ゴビ砂漠のライダーネットワークが捉えた寒冷前線システムによるダスト層の発達

○河合 慶¹、甲斐憲次¹、神慶 孝²、杉本伸夫²、Dashdondog Batdorj³

(1:名古屋大学、2:国立環境研究所、3:モンゴル気象環境監視庁)

(2) シーロメーターとダスト係留気球の同時観測から得られたゴビ砂漠におけるダストの鉛直粒径分布とMECFの算出

○小原一真¹、牧 輝弥²、能田 淳³、E. Davaanyam^{4,5}、源 祐輝¹、河合 慶¹、甲斐憲次¹

(1:名古屋大学、2:金沢大学、3:酪農学園大学、4:モンゴル気象水文環境情報研究所、5:筑波大学)

(3) 近年におけるモンゴル・ウランバートル市の冬季大気汚染に対する観測的研究

○王 敏睿 (名大院環境)、甲斐憲次 (名大院環境)、杉本伸夫 (国立環境研究所)、D. Batdorj (モンゴル情報・気象水文環境研究所)、S. Enkhmaa (モンゴル情報・気象水文環境研究所)

(4) ひまわり8号 Dust RGB と地上ライダーが捉えた、2017年5月の東アジア広域ダストイベント解析

○源 祐輝¹、中村晃太郎¹、小原一真¹、王 敏叡¹、河合 慶¹、能田 淳²、E. DAVAANYAM^{3,4}、杉本伸夫⁵、甲斐憲次¹

(1:名古屋大学、2:酪農学園大学、3:モンゴル気象水文環境情報研究所、4:筑波大学、5:国立環境研究所)

(5) GOSAT 検証のための国内外の TCCON サイトにおけるライダー観測の現状

○内野 修、森野 勇、宇賀神惇 (国立環境研究所)、酒井 哲、永井智広、吉田 智 (気象研究所)、浜野玄輝、坂口 瞳、奥村 浩、新井康平 (佐賀大学)、柴田 隆 (名古屋大学)、Ben Liley (NIWA Lauder)、Gerry Bagtasa (University of the Philippines)、Voltaire A. Velazco (University of Wollongong)

12:10~13:10 昼食

13:10~14:30 対流圏ライダー観測

(6) 北極対流圏エアロゾルの季節変化

○柴田 隆 (名大)、白石浩一 (福岡大)、須藤健悟 (名大)、岩崎杉紀 (防衛大)、塩原匡貴 (極地研)、鷹野敏明 (千葉大)

(7) 水蒸気ライダー観測を用いたデータ同化実験

○吉田 智、永井智広、酒井 哲、瀬古 弘、横田 祥、小司禎教 (気象研究所)

(8) ラマンライダーによる海上水蒸気変動観測

○谷口京子、勝俣昌己 (JAMSTEC)、西澤智明、清水 厚 (NIES)

(9) 近赤外3波長 DIAL による境界層中のCO₂濃度、エアロゾル、気温鉛直分布の同時観測

○柴田泰邦、長澤親生、阿保 真 (首都大)

14：50～16：10 ライダー技術、成層圏・中間圏ライダー観測

(10) 地上付近のエアロゾル鉛直分布把握のための取り組み

○清水 厚、高見昭憲、吉野彩子、杉本伸夫、西澤智明、神 慶孝(国立環境研究所)

(11) イメージおよびライダー観測による雲のフラクタル次元計測

○弘田瑛二、鈴木秀彦(明治大学)

(12) ライダーで観測された北極成層圏エアロゾルの季節変動

○白石浩一(福岡大)、柴田 隆(名大)、塩原匡貴(極地研)

(13) 南極昭和基地における波長可変共鳴散乱ライダー観測の現状

江尻 省、西山尚典(極地研)、津野克彦(理研)、○津田卓雄(電通大)、阿保 真(首都大)、和田智之(理研)、川原琢也(信大)、中村卓司(極地研)

16：20～17：00 特別報告会

「最近の成層圏エアロゾルの増加 ～カナダ森林火災の影響～」

- 北極ニーオルスン 柴田 隆(名大)
- つくば 酒井 哲(気象研)
- フィリピン 酒井 哲(気象研)、内野 修、森野 勇(環境研)
- 陸別と佐賀 内野 修、森野 勇(環境研)
- 福岡 白石浩一(福岡大)
- CALIPSO 阿保 真(首都大)

講演時間(質疑込み)：一般講演：20分、特別報告会：5分